

### 《今後のスケジュール》

回	期 日	内 容
19	5月28日(木)	【提言書取りまとめ】全体会 事務局が中間取りまとめに対する市民意見を集約して市民会議に提示します。それを討論素材として、市民会議の提言書をまとめ上げます。
20	6月11日(木)	【提言書取りまとめ】【最終】 市民会議から長期総合計画審議会の委員として2名推薦します。
21	6月25日(木)	市長へ提言書提出



### \*市の将来について話し合ってみませんか？

#### 〔団体別懇談会〕を行ないます！

市では、新たな長期総合計画の策定を市民参加で進めるため、団体やグループとの懇談会を行います。市の職員が伺い、長期総合計画について説明します。市の将来について話し合う機会です。ぜひ、お申し込みください。

▽対象：市内在住、在勤、在学の5人以上の団体、グループ

▽期間：4月下旬～6月下旬

▽申し込み方法：電話またはファクス（FAX 042-377-4781）で申し込んでください。

※ファクスの場合は、件名を「長期総合計画懇談会」とし、希望の日時・会場、代表者の住所・氏名・電話番号を記入してください。

※日時や会場などは調整させていただくことがあります。

▽申し込み・問い合わせ：下記問い合わせ先まで

### 次回の市民会議

次回の市民会議は、**5月28日(木)の19時から地域振興プラザ**で開催いたします。

6月の市民会議提言書の最終まとめに向けて、市民のみなさんからいただいた意見も踏まえ、提言内容について議論を深めていきます。また、市民会議の名称を決定します。

—— 詳細は下記問い合わせ先まで ——



稲城の特産品：梨

(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議 市民会議だより



#### \*お問い合わせ\*

稲城市企画部長期総合計画担当  
☎206-8601 稲城市東長沼 2111  
☎042-378-2111 内線 537

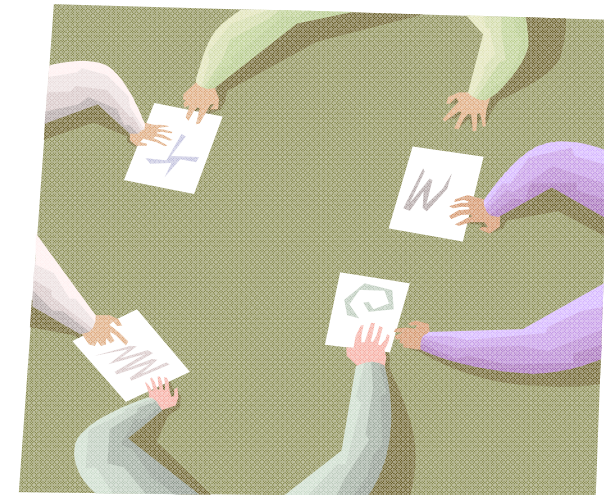


稲城の特産品：ぶどう

(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議

# 市民会議だより

平成21年5月  
第18号



## 市民会議提言書（中間取りまとめ）に対する たくさんのご意見ありがとうございました！

※みなさんからいただいたご意見は、概略をまとめて提言書などに掲載します。

（仮称）第四次稲城市長期総合計画市民会議の第18回会議を5月14日（木）に開きました。

「市民会議提言書」の最終取りまとめに向けて、今回は自治会（地域コミュニティ）についてレクチャーしていただきました。

また、参加者から新たに2つの提案が出され、全体会で話し合いを行いました。

\*【(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議】とは、多様な意見や価値観を有する市民が自発的に参加し、稲城市の将来像など長期総合計画について自由に議論し、合意形成した内容を提言書として取りまとめ、市長に報告する組織です。

## 第18回 市民会議を開催しました

今回の市民会議は、市役所の総務課長と自治会連合会長に出席していただき、自治会の現状や取組みについて説明していただき、全体会の中で意見交換をしました。

その後、「地域ごとのフリーマーケットの開設」「魅力ある普通科高校誘致」という市民会議メンバーからの新規提案について、提言書（中間取りまとめ）でまだ内容的に不十分な部分や大きく意見が対立した部分について討論しました。中間取りまとめで市民のみなさんから寄せいただいた意見について配布し、次回討論することになりました。

**自治会とは？** 字または町、マンション単位に住民によって自然発生的に形成された組織です。



稲城市内には 31 団体ほどの自治会があります。（平成 21 年 4 月 1 日現在）そのうち 25 団体は自治会連合会に加入しています。しかし組織率は年々下がっています。

自治会を組織している中で自治会に加入している世帯の割合：65.6%  
組織率（市内のどれだけの世帯が自治会に加入しているか）：58.4%  
※平成 20 年 4 月現在

自治会では、消防関係や福祉関係、防災関係、スポーツ大会関係、環境衛生関係の各種の組織と連携しています。スポーツや福祉などの特定の活動だけではなくて、会員相互の親睦と福祉の増進、地域生活環境の整備など、より良いまちづくり・地域づくりのために広く地域的な共同活動を行おうということを目的としています。

**質疑応答から** 当日参加者から出された質疑とその回答の一部を紹介します。

**?** 稲城市の自治会は会費を集めていますか？集めるのは大変だと聞きますが…。

はい、あります。しかし自治会費は 25 自治体が全部統一されているわけではありません。自治会の費用の他に、地域独自の方針に沿って消防活動の援助などに使われています。自治会費の他にも赤い羽根の共同募金や社会福祉協議会の会費など、年に 4・5 回お金を集める事業があります。くまなくみなさんにご案内して、ご協力いただけるように動ける組織は自治会しかないのではないかと思います。

**?** 自治会の組織率が落ちてるのはなぜだと思いますか？

残念ながら自治会に対する関心が低くなっていると思います。特にひとりでお住まいの方にはなかなか賛同していただけません。しかし、自治会の活動を深く理解して「自治会がなければ困るよね」とおっしゃってくださる方もたくさんいます。

**?** 自治会として、住民の要望やニーズが掴みきれいていないのでは？住民が何を望み、まず何をすればいいかも一度見直してほしい。

自治会は防犯活動や地域美化など、表向きには目立たないような活動も幅広くやっています。自治会に入っていない方と話す機会はなかなかありませんが、チラシを配ったり直接呼びかけたりといったような活動を地道に行っています。市でも新たに転入した方には積極的に自治会への加入を促すなど努力しています。もっと関心を持ってもらうには、と本当に悩んでいるところです。コミュニティが生活していく上でとても大切だという認識を持ってもらうことが大切だと考えます。

**新規提案** 「地域ごとのフリーマーケットの開設」「魅力ある普通科高校誘致」という提案に対する参加者の意見の一部とそれに対する考え方を紹介します。

### 新規提案①「地域ごとのフリーマーケットの開設」

子育てを終えた家庭、これから子育てをはじめる家庭、お互いにいろいろな情報を持ち、色々な情報を必要としています。

例えば絵本やおもちゃ、使い終えたが捨てるのは“もったいない”。これから“使いたい”が出費が重い…。こうした情報を行政が保育園、幼稚園、小学校、文化センターなどの施設で写真つきで紹介し合う仕組みをつくったら、お互い助かるのではないのでしょうか。

さらに上記の施設で日程を定め、物品を交換し合うなど、地域に根づかせていくよう、行政が後押しし、取組めるようにしてほしい。

本当にニーズがあってやる気があるのなら、来月からでも市民有志で開始出来るのでは？

地域ごとに開催すると客足が分散するだけで効率が悪く出店側の意欲も低下するのでは？

フリーマーケットは今も市民祭りなどでやっている。定期的にする必要がどれくらいあるのか…。

今のようにゆとりがなくなってきている状況で、時代のニーズになるんじゃないかと思う。

新しいものがほしいというものもちろんあると思うが、やっぱりおさがりとかそういうものはお母さんたちは必要。

◆フリーマーケットを含め、この提案は子育て支援につながっていくという考え方をもとに、「提言 4 子どもの権利を守る観点に立った子育て支援」の内容に盛り込むことになりました。

### 新規提案②「魅力ある普通科高校誘致」

公立及び私立を問わず、また中高一貫校は時代の動向として望ましい。

- ・国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計が発表され、2035 年の稲城市の人口伸び率が全国 5 位であることが分かった。
- ・現状の高校では配置も内容も不適切である。
- ・基盤整備が進み敷地の確保が難しくなるのではないか。
- ・魅力ある高校設置は若い人達の動きを呼び、活性化につながるのではないか。
- ・理想としては、将来稲城市の文化の中心的役割を担っていくべきと思われる。

市内の中学生に“私たちが進みたい高校がほしい”というニーズが合っただけでもおそくないのでは？

市内に新たに設置するメリットは？

稲城市ならではの特色を出した高校を新設しても将来につながるかどうか疑問。

高校を新設するよりは、若葉台総合高校を盛り上げていった方がよいのでは？

現実的に保育園が少ないのだから、高校をつくるならば保育園を増やした方がいいのではないのでしょうか。

◆やや否定的な意見が多かったため、提言書への記載は見送ることになりました。